

なかよし

てんどうちゅうぶしょうがっこう
天童中部小学校

いちようがくじゅうだより
いちよう学級だより

R5.3.15

No. 34

感謝の思いを伝える

3月8日にいちよう学級で6年生を送る会を行いました。各学年から感謝の気持ちを表すため、6年生へ向けてのメッセージや歌、プレゼントなどを送りました。

5年生は4年生と一緒に全体の進行や会場の準備、片付けを行いました。イベントを自分たちで運営するのが初めてだったので意欲は高く、役割は立候補ですんなり決めました。ただ、6年生へのプレゼントなどはなかなか決まらずにいました。どんなものだと6年生が喜んでくれるか、相手を意識したからこそ悩んだのかもしれませんが。ようやくアイロンビーズを作って贈ることに決めました。そこで活躍したのがAさんです。Aさんは図案を調べ、素早くビーズでキャラクターを作ったのです。「もっと作りたい。」と言って、2つめの制作にも取り掛かりました。Aさんの作品は6年生に喜んでほしいという思いが表れていました。また、あいさつの係になったBさんは「あいさつはどうしたらいい。」と聞きにきました。そして、担任と相談しながら話す内容を決めました。言い間違えないように、教室で何度も何度も練習を重ねました。司会のCさんは、司会自体初めてでしたが、周りの先生にも聞きながら進めることができました。Dさんは、レクリエーション係として、全体を動かしました。「緊張する。」と不安を口にしながらも、それを払拭するためにレクリエーションの説明を何度も繰り返し練習し、本番に備えました。

送る会は、子ども達ができたことやうまくいかなかったところも修正しながら会を進めようとしていた姿に、成功したと担任は感じました。さらに子ども達の素晴らしい姿が見えたのは、次の日の片付けの時間でした。Eさんは、壁に飾った輪かざりを黙々と外していました。そして、輪が外れたところを見つけると、「また使うから。」と直していたのです。他の4人も協力して丁寧に片づけていました。送る会を計画した当初はどちらかという受け身の姿でしたが、片付けの時には自ら考えて動く姿が見られるようになりました。片付けの時間に6年生はいません。しかし、片付けまで丁寧にやることで、6年生への感謝を表したのかもしれませんが。「来年も送ってもらえるようにしたいな。」と次は自分たちの番だと思っています。『6年生らしくなりたい』という決意を持って、5年生は歩いていきます。その姿をこれからも支えていきたいと思います。

